

次世代自動車用・産業用コンデンサの新素材研究・新製品開発を加速
「指月R&Dセンター」竣工のお知らせ

株式会社指月電機製作所は、兵庫県西宮市において建設を進めていた「指月R&Dセンター」の工事が完了し、2019年1月23日(水)に竣工式を執り行いました。今後ますます拡大、高度化する次世代自動車用・産業用コンデンサの需要に対応し、新素材、新製品の開発を加速してまいります。



指月 R&D センターの外観写真

【指月 R&D センターの概要】

所在地	兵庫県西宮市国見台六丁目 8 番地 2
延床面積	3,154.27 m ²
構造	鉄骨造、地上 2 階建
主な建物用途	コンデンサの研究開発
竣工日／稼働日	2019 年 1 月 23 日／2019 年 3 月
投資額	約 7 億円(建物)

【建設の理由】

近年、自動車市場では地球環境保護の観点から次世代自動車の需要が急速に高まり、また、産業市場においては、電気の効率利用・省エネを目的としたインバータ化が加速するなど、高信頼性、高品質なコンデンサの需要が拡大しています。この拡大、高度化するコンデンサの新素材研究、新製品開発を加速するため、これまで岡山県総社市にあったR&Dセンターを移転し、兵庫県西宮市に「指月R&Dセンター」を新設しました。

さらに、コンデンサ応用技術である電力機器製品についても、各部門と連携し開発を強化します。

なお、R&D センター移転後の建屋は、当社の連結子会社である岡山指月株式会社で増産体制を強化している次世代自動車用コンデンサの生産棟として使用します。